



Civic Commission for Africa

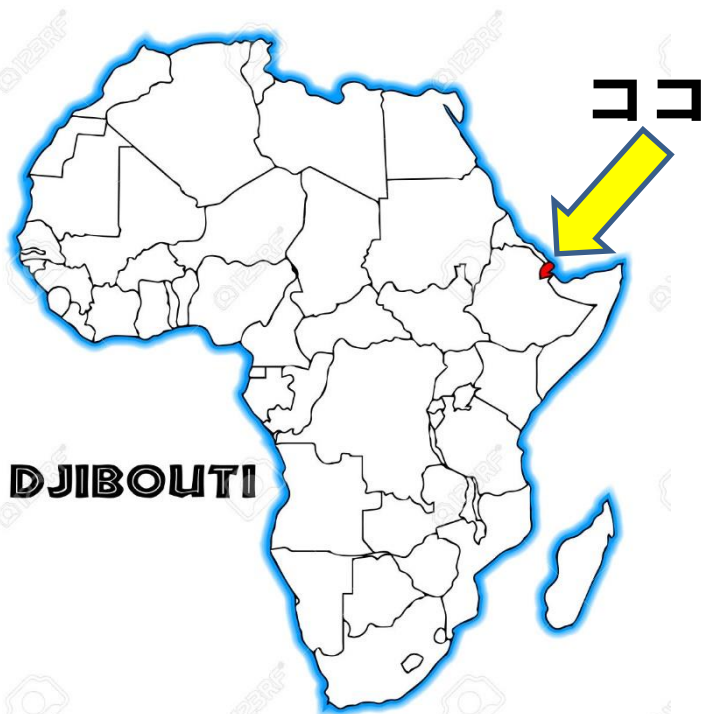
TICAD VI 高級実務者会合 市民社会提言書



Japan Citizen's Network for TICAD

★ TICAD VI 高級実務者会合 (ジブチ、3/14-15)

- 実務レベル (= 官僚) で行う TICAD 準備会合。TICAD で扱うべき課題や、TICAD の成果文書 (今回は「ナイロビ宣言」) の最初のドラフトを作り、会議の枠組みを決定。



- 会議のテーマや方向性がかなり決まってしまう = 政策提言に重要。
- 今回の主要テーマ: TICAD V の「横浜宣言」「横浜行動計画」に足す形で、2013 年以降のアフリカの新たな重要事項を中心に宣言づくり。
- テーマ: 「産業化」「保健」「安全保障・テロ問題」



テーマ1:産業化

★なぜ「産業化」？

- 昨今の一次産品価格低迷でアフリカ経済は苦境に。
- わかったこと:アフリカ経済はいまだに一次産品に依存。一次産品価格は国際市場で決められ、アフリカは規定力に乏しい。
- 経済の多角化と産業化がなければ、アフリカ経済不安定で、常に外部に支配される。⇒「産業化」はここ1～2年のアフリカ連合(AU)の最大テーマ。

＜市民の提言＞

- アフリカ諸国政府は経済の多様化と産業化に尽力し、価値連鎖を形成して一次産品依存を克服すべき。
- AUはアフリカ発の一次産品の国際価格にアフリカがもっと強い規定力を持つような枠組みを作るべき。
- アフリカ開発、特にインフラ整備や技術移転においては、産業化の担い手となりうる青少年層の育成に努めるべき。
- 女性が持てる能力を最大限生かせるような環境整備をすべき。
- インフラ整備、産業化プログラムにコミュニティが発言権を持つべき。



テーマ2: 保健・水と衛生

なぜ「保健・水と衛生」?

- アフリカ3カ国での「エボラ・ウイルス病」蔓延＝保健危機管理・保健システムの脆弱性により発生。
- 保健危機ガバナンスと保健システム強化が急務。

<市民の提言>

- ユニバーサル・ヘルス・カバレッジの実現: 誰も取り残さない、万人のための質の高い公衆保健システムが必要。
- アフリカ諸国政府はアブジャ宣言(国家予算の15%を保健に)を達成すべき。援助国はグローバル・ファンドやGAVIアライアンス、その他多国間の保健機関に十分な資金を提供し、SDGsの目標達成に寄与すべき。
- UHC達成に向けた市民社会のプロジェクト実施やアドボカシーをUHCに不可欠な要素として位置づけるべき。
- 女性の100%衛生設備アクセス、公共医療施設の100%の水・衛生アクセスを達成すべき。そのために「日本トイレ基金」などを設置すべき。



テーマ3: 社会的安定の実現・テロリズム



Civic Commission for Africa

なぜ「社会的安定の実現・テロリズム」?

- 「対テロ戦争」のアフリカへの波及、宗教的極端主義の台頭＝「ボコ・ハラム」(ナイジェリア等)や「アッシャバーブ」(ソマリア・ケニア)の勃興とテロリズム
- 背景としての青少年の失業・雇用不安と将来に希望の持てない社会の存在⇒「過激化」

<市民の提言>

- アフリカ諸国政府と開発パートナーは各種の安全保障に対処する「地球規模人間の安全保障ネットワーク」を構築して包括的に問題に取り組むべき。
- 職づくりにより失業・雇用不安を軽減し、青少年の「過激化」を防ぐべき。
- 紛争は人間が作り出したもの。宗教的極端主義者とも継続的な対話を行い、彼らが何を求めているかを同定して対処すべき。
- 国・地域レベルで宗教的極端主義の動向を把握し、対処するために、「宗教的・倫理的教育のための国家委員会」を設置すべき。
- 国境管理を厳密にし、武器や資金の流入を防止すべき。



SDGs、「アジェンダ2063」と 地域経済共同体



なぜSDGs、アジェンダ2063、地域経済共同体？

- SDGs、アフリカ連合の「アジェンダ2063」、RECsの長期計画はアフリカの持続可能な将来のために不可欠。
- 「アジェンダ2063」の「大志」(aspiration)を実現するために多様なセクターの協力が必要。

<市民の提言>

- TICADプロセスは、他の開発戦略と調和化して、「アジェンダ2063」等の達成を推進すべき。
- 伝統的な開発資金と民間資金や革新的資金をうまく活用して、開発のための原資を確保すべき。
- データに基づいた事業実施とアドボカシーが必要。
- 透明性とアカウンタビリティに裏付けられた「人間中心の開発」。
- 開発に関係するすべてのセクターのパートナーシップ。